

【お詫びと訂正】

P74のタイトルが間違っていました。お詫びと共に訂正致します。

(誤)

1. 長寿命に対する基本性能

(正)

1. まちなみ景観への配慮

P74の最終行の文章が間違っていました。お詫びと共に訂正致します。

(誤)

画建物を調査・連続させる取組みを実施している場合に評価する。

(正)

画建物を調和・連続させる取組みを実施している場合に評価する。

P118のSFI®のホームページアドレス及び情報が間違っていました。
お詫びと共に訂正致します。

(誤)

SFI®: Sustainable Forestry Initiative (<http://www.aboutsfi.org/>)

1994年に、全米最大の企業会員数を誇る林産業界団体の全米林産物製紙協会 (AF&PA) が創設。現在、AF&PAは会員企業にSFI®への参加を義務付けている。ATFSとの相互認証を実施している。

(正)

SFI®: Sustainable Forestry Initiative (<http://www.sfiprogram.org/>)

「1994年に、全米最大の企業会員数を誇る林産業界団体の全米林産物製紙協会 (AF&PA) が創設し、北米で最も広く利用されている森林認証制度。PEFC とATFSそれぞれと相互認証を行っている。2007年1月より独立した機関、Sustainable Forestry Initiative, Inc. により運営されている。SFI®の基準は持続可能な森林管理、木材の調達方針、公開報告、継続的な改善、違法伐採の抑制を含む13項目から構成されている。」

3. 居住時のエネルギーに係るCO₂排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_{H1} エネルギーと水を大切に使う

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象		参照値	
						採点結果	消費率	採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	-	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	-	100%	-	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	-	100%	-	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	-	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	-	100%	-	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	-	111%	100%	94%	89%	4.0	94%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	-	100%	88%	75%	4.0	88%	3.0	100%
2.4 換気設備	-	-	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.1		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	-	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	-	-	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO₂排出量の計算

用途	式	基準値	kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /年m ²	
			用途別消費率	CO ₂ 換算値	用途別消費率	CO ₂ 換算値	用途別消費率	CO ₂ 換算値
暖房	建物の熱負荷抑制 × 自然エネルギー利用 × 暖房設備	3.61	90%	3.24	95%	3.42		
冷房	自然エネルギー利用 × 冷房設備	0.85	100%	0.85	95%	0.81		
給湯	給湯機器 × 浴槽の断熱 × 給湯配管	10.13	94%	9.57	100%	10.13		
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	88%	3.29	100%	3.76		
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	88%	7.30	100%	8.34		
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	88%	1.24	100%	1.41		
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06		
節水	節水型設備 × 雨水の利用	1.46	85%	1.25	100%	1.46		

3-3. 合計の計算

合計 (Σ(用途別基準値 × 用途別削減率))

31.63

太陽光発電システムでの削減量 (基準値合計 × 削減率)

総計 (合計 - 太陽光発電)

kg-CO ₂ /年m ²	評価対象
28.80	
3.04	
25.75	

kg-CO ₂ /年m ²	参照値
31.41	
0.00	
31.41	

4. ライフサイクルCO₂の計算(標準計算)

建設
修繕・更新・解体
居住
合計

kg-CO ₂ /年m ²	評価対象
2.97	
6.89	
25.75	
35.61	

kg-CO ₂ /年m ²	参照値
8.92	
3.02	
31.41	
43.34	

◆正誤表(第1刷用)

頁	訂正箇所	誤	正
目次2	2.3及び2.4	「改修・修繕・解体」	「修繕・更新・解体」
p26	③「評価対象外」の設定方法 上から4行目	詳細は「Part II 1.3手計算に	詳細は「Part II 2.3手計算に
p32	表2.1の上、下から3行目	2.2に示されている値	1.2に示されている値
p32	表2.1の上、下から2行目	表1.1に	表2.1に
p36	■評価レベル 2行目	図2.19の $Q_H1.1.1.2$ の例では、レベル2として	図2.19の $Q_H1.1.1.1$ の例では、レベル4として
p48	評価レベル 表、レベル5 基準	各居室で必要な換気量が できる 計画	各居室で必要な換気が確保できる計画
p74	小見出し	1. 長寿命に対する基本性能	1. まちなみ・景観への配慮
p75	解説4)下から2、3行		4)削除
p79	語句の説明 7行目	(成長時に 2m 以上となる場合は	(成長時に 3m 以上となる場合は
p90	STEP2 2行目	「Part III 2.2(参考資料2)」	「Part III 3.2(参考資料2)」
p118	SFI記述		別紙参照
p120	(参考3)2行目	「Part III 2.2(参考資料4)」	「Part III 3.2(参考資料3)」
p138	小見出し	1. 地球温暖化への配慮	1. 地球環境への配慮
p138	小見出し(1.地球温暖化への配慮)の下	空欄	1.1地球温暖化への配慮
p169	2.3評価方法(2)	(2)「建設」「 改修・修繕・解体 」の	(2)「建設」「修繕・更新・解体」の
p178	図3.9差替え		別添貼り込み用紙
p74	最終行	画建物を 調査・連続	画建物を調和・連続
p81	1)移動経路の確保	生垣などを適当な 感覚 で	生垣などを適当な間隔で
p174	暖房用途のCO ₂ 排出量の式中	× LR _H 2.1.1 の消費率	× LR _H 1.2.1.1の消費率
p174	②冷房CO ₂ 排出量計算式	暖房 用途のCO ₂ 排出量＝	冷房用途のCO ₂ 排出量＝